

SAUNA SPA



公益社団法人日本サウナ・スパ協会 〒102-0074 東京都千代田区九段南4-8-30 アルス市ヶ谷907 TEL:03-5275-1541 FAX:03-5275-1543 sauna.or.jp



3月7日「サウナの日」 タナカカツキさんをサウナ大使に認定

日本サウナ・スパ協会は、3月7日の「サウナの日」が日本記念日協会に正式登録されたことを記念し、マンガ家のタナカカツキ氏を「サウナ大使」に任命することを先の理事会で決定した。その認定式が3月7日、大阪ニュージャパビルの男性サウナ「スパカバーナ」で、一般の参加者も交え開催された。

タナカカツキ氏が著した『サ道』（パルコ出版）は、サウナに偏見を抱いていた氏がその醍醐味を衝撃的に知りハマっていった体験をマンガを多用して表現。サウナ未体験層



に対しサウナの扉を大きく開いた一冊で、多くのサウナファンが絶賛するものだ。氏はマンガ家でありながら映像作家など、マルチに活躍するアーティストで、その発言は多くのファンが注目している。今やタナカ氏の行く先々でサウナ好きが増えると言われ、その言動はサウナの啓発に大きく貢献している。

協会はこのこれまでの活動への感謝の意と今後も「サ道」の高みを極めていただきたいとの思いから、日本初のサウナ大使としての大役を依頼、ここに認定した。

認定式は、中野憲一会長が趣旨を説明し、「貴殿はサウナの啓発普及に尽力し、その発展に貢献するところ誠に多大なるものがありました。その功績をたたえ

るとともに、サウナの素晴らしさを広げるサウナ大使として認定いたします」と認定証を読み上げた。続いてフィンランド大使 ヤリ・グフタフソン氏を始めとする祝辞の紹介、そして米田行孝専務理事により大使専用ガウンとフィンランド製のサウナ帽の贈呈が行われた。タナカ氏はサウナ大使の文字が刺繍されたガウン（リボス社製）に着替え、サウナ帽を被って再登場。ウール製の

このサウナ帽は、サウナ内で熱から髪を守るためのもので、贈呈された品はヴァイキングをイメージした遊びのあるデザイン。その後、協会加盟全店に無料で入館できるゴールデンパスとサウナ大使としての名刺が贈呈された。氏はその後、司会進行の小池いづみ氏からのインタビューでサウナへの熱い思いを語った。

大使任命記念スピーチ（概要）

「お風呂という名前をサウナに返してもらいたい」

サウナの素晴らしさは、サウナ室と水風呂と休憩（できれば外気）の3つがセットで初めて体験ができるものと感じているのですが、そのことをほとんどの人が知らず、サウナ=高温多湿のサウナ室だと思っています。サウナの魅力がなかなか伝わらないのは、この点が誤解を生んでいるのだと思うのです。

サウナというとフィンランドというイメージがありますが、日本も昔は蒸し風呂を楽しんでいたんですね。当時は風呂というと蒸し風呂のことで、湯船のある風呂は江戸時代に入ってからできたらしいのです。風呂という漢字を見てください、漢字は象形文字ですから、形の中に意味が隠れているはずですが、風呂という文字には水を表すサンズイがどこにもないんです。というのも風呂というのはもともとは蒸し風呂、つまりサウナのこと



だったからです。風呂は風の呂と書きますよね、呂というのは囲まれた空間のことですが、この呂という字には二つの囲まれた空間があります。私は、一つは蒸し風呂、もう一つは水風呂なのではないか、と思うわけです。そしてその前の漢字は風。先ほどのサウナの魅力の3要素、蒸し風呂、水風呂、風=外気、を風呂という字は完璧に表現しています。ですから、お風呂はサウナのことなのです。私はこの機会に、お風呂と言う名前をサウナに返してもらいたい、なんて思っているのです。先ほどこのビルの6階の「スパプラザ」に初めて入らせていただきましたが、サウナから出た後、すぐに風に吹かれる場所があり、素晴らしい施設だと思いました。

これまで、いろんな場面で友人たちにサウナの素晴らしさを話してきて、どうして自分がサウナにこんなに本気になってしまうのか不思議な感じがしていたのですが、このたび大使という肩書をいただいてようやく、自分の行動と立場が一致したような気がします。今後はいっそう「サ道」の修練に励みたいと思います。有難うございました。

九州・沖縄サウナ・スパ協会発足

九州ブロックは今後沖縄も視野に入れることを前提として、名称を「九州・沖縄サウナ・スパ協会」に変更し、3月13日、第一回の発足会議をウェルビー福岡支社会議室で開催した。議題は店舗紹介、名称変

更、役員理事選出、今後の運営他。会長は枝元倫介氏、副会長は西野憲保氏、監査は足立政則氏、会計は坂本利弘氏、事務局はウェルビー福岡支社に満場一致で決定。発足を機に原点に戻り各店協力のもと、サウナやスパの啓発、勉強会等を実施する。今回の会議では、まず協会の合同ポスターを制作す

ることを決定。その後、九州ブロックの収支報告、宮崎県サウナ・スパ協会の現況報告などが行われた。



改良品登場 デモンストレーション承っております（什器類も貸し出し致します）お気軽にご連絡下さい



酒風呂 極まる。

10L ¥9,800

本物の酒風呂『菊正宗美人酒風呂』

日本酒ブランドの雄「菊正宗」が生み出した、「本物感」たっぷりの入浴剤です。菊正宗が織りなす豊かな日本酒の香りと、化粧品にも使用されている日本酒の「保湿成分」による、しっとりとした肌の仕上がりが大変好評を頂いております。他店との差別化にぜひオススメさせて頂きたい商品です。

販売用もご用意

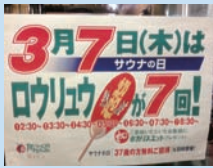
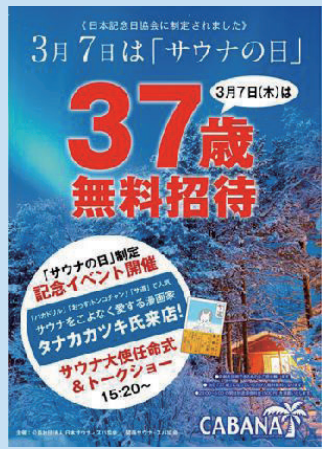




「サウナの日」にちなんだ各地の活動

3月7日「サウナの日」を記念して毎年全国の加盟店でさまざまな活動が行われてきた。今年の記念イベントとして関西サウナ・スパ協会(米田篤史会長)が発案した「37歳の方、無料ご招待」は、新しい企画として注目を集め、関西地区以外の加盟店も賛同。参加店は各店37歳を優遇しつつ、以下のような独自のサービスを企画し、HPやポスターによる告知、フェイスブック、ツイッター等による情報発信を行い、「サウナの日」をお客様にアピールした。

また、永年続けられている日本赤十字社の献血推進活動の協力は、今年は愛知県協会が名古屋市内と岐阜市内で、宮崎県協会が都城市内と宮崎市内で献血の協力呼びかけを行った。



3月7日のサービスいろいろ

- 37歳の方を無料ご招待
- 37歳はご招待、更に同伴者1名も無料
- 記念タオルを販売
- 記念タオルを先着〇名様に進呈
- ロウリュ体験した方先着100名様に記念タオル贈呈
- ナイトロウリュ開催
- サウナー育成講座無料ご招待
- 館内商品を特別料金に
- マッサージ・フットケアコース10分延長
- 先着120名様に牛乳orコーヒー牛乳プレゼント
- 37歳以外のお客様も当日入浴料がお得に
- 37歳以外のお客様に半額券プレゼント

献血推進活動報告

〈愛知県協会〉

愛知県協会は、「サウナの日」にちなんだ献血推進活動を3月9日(土)に名古屋地区と岐阜地区の2ヶ所において実施しました。名古屋地区は名古屋市中区にある大須献血ルームにて午前11時より午後4時まで、岐阜地区は岐阜市正木にあるイオン「マーサ21」にて午前10時より午後4時まで、正会員・賛助会員15名程が愛知県専用ジャンパーを着用し、行き交う方々に献血を呼びかけました。多くの方々に足を止めていただき、両地区の推進運動にて受付人数約150名、実際に献血して頂いた方は約100名にのぼりました。



〈宮崎県協会〉

宮崎県協会は3月6日、7日の両日、宮崎県都城市と同宮崎市で献血推進活動を行いました。天候に恵まれ、都城市で27名、宮崎市で25名、献血センターで9名の方が献血してくださいました。今回は薬や体重制限の為に受付でお断りをするケースが多かったのですが、2日間で50名を突破することができて達成感がありました。地味な活動ですが、来年以降も続けていきたいと思っています。



東京都協会 勉強会



東京都協会(吉田秀雄会長)は2月20日(水)「第62回体験入浴会・勉強会」を開催し、33名が参加しました。

今回は前回同様、体験入浴を「オアシスサウナアスティル」にお願いし、ニュー新橋ビルの会議室で勉強会を行いました。

吉田会長の進行で、アンケートの回答に沿ってお客様への施設利用による健康維持効果のアピール方法、サウナや水風呂の温度、運営上困っていることや疑問点について個別に各店舗から発表がありました。

特に浴室内のマナーの徹底やイレズミ客への対応など、各店舗から実際の事例やその対応例が具体的に発表され、活発に討論が行われました。

その後、(株)ケーエスからカビ取り剤等の薬剤についてプレゼンテーションをお願いしました。

終了後、賛助会員も参加してアスティルビル内の「千年の宴」において懇親会を開催し、今日の課題を踏まえた情報交換に話が弾みました。

埼玉県協会 懇親会



埼玉県協会(阿戸健次会長)は3月15日、会員と賛助会員、日本協会から若林幹夫事務局長が参加して、今年初の顔合わせの懇親会を行ないました。阿戸会長は「デフレからインフレに変わろうとしています。大手企業だけでなく温浴企業も従業員のベースアップが出来るように頑張りましょう」と挨拶。久々の会とあって、参加者は近況報告で盛り上がりました。

角界との関係が深い阿戸会長が、1月19日に亡くなった第48代横綱・大鵬親方の思い出と、協会とも縁の深い現横綱・白鵬関が告別式に参加した時の様子などを語り、皆が聞き入るとい

う一幕もありました。阿戸会長の話はあらまし次のようなものでした。



夢と希望に満ちた偉大なヒーロー

1月31日の告別式には私もファンの一人として参加させていただきました。強烈なサウナ党の横綱・白鵬関は、大鵬親方を角界の父と慕い薫陶を受けてきました。告別式では「もっと厳しい言葉をいただきたかった」と弔辞を述べ、悲しむ様子は痛々しいほどでした。大鵬親方は昭和36年、当時史上最年少の21歳の若さで横綱に昇進。ライバルである横綱・柏戸と「柏鵬時代」を築きました。「巨人、大鵬、卵焼き」で知られるように子供たちの憧れの的で、取り組みが近づくと銭湯の湯船から人が消え、テレビのある脱衣所が人でごった返したというほど、人気がありました。32回という史上最多優勝の他、数々の記録を達成し、強く偉大な横綱として国民的ヒーローだったのです。現役時代から慈善活動にも尽力。「大鵬慈善浴衣」等の販売収益金で日本赤十字社に献血運搬車「大鵬号」を送り続け、その数70台にも達しています。私の所属するライオンズクラブ国際協会は昭和57年、日本人に対して初めての「世界人道主義賞」を米国アトランタで贈呈しています。2月25日の、国民栄誉賞の授与には芳子夫人とともに白鵬関も出席していました。同時代を生きた私たちとしては残念な限りですが、社会に明るい夢と希望と勇気を与えた偉大なヒーローのご冥福を心から祈りたいと思います。

サウナ
啓発活動

3mの雪の上に設営 のべ300人がテントサウナを満喫

越後妻有
大地の芸術祭の里
ECHIGO-TSUMARI ART FIELD

3月2日、3日の両日、豪雪地、越後妻有(新潟県十日町市・津南町)において「大地の芸術祭の里 越後妻有 2013 冬」が開催された。2mを超える積雪の中、千変万化の雪の魅力を楽しめる2日間として現代美術、舞踏、雪遊び、雪原テルメ、運動会など、様々なプログラムを実施した。協会は賛助会員の(株)アクアエンタープライズの重隆文社長を通じて、大地の芸術祭を運営するNPO法人の越後妻有里山協働機構事務局長 関口正洋氏より、「フィンランドのサウナ文化を背景とした「雪原テルメ」の設営の一部としてテント式サウナの出品をお願いしたい」との申請を受け、中型テントサウナ1基、小型テントサウナ1基を設営するために、名古屋と東京から各3人のボランティアスタッフが赴いた。

「雪原テルメ」とはテントサウナと温泉水を利用した「ムロ」の2つの温浴施設の総称として今回初めて使われた言葉。「ムロ」はテントの内壁一面に杉の葉を刺し、上から日本三大薬湯で名高い地元の松之川温泉の源

泉をたらす。そして温泉の湯気と杉の香りを満たした室内で松之川温泉の足湯を楽しむというもの。一級建築士の早川知子さんとNPO法人健康と温泉フォーラムの協力で誕生した独創的なインハレーション施設だ。

テントサウナの設営は会期の前日の3月1日。ストーヴの下の部分にコンパネを敷き、2mの積雪の上にじかにテントサウナを張って試運転を行ない、サウナストーンの上にサウナの神様を置き、フィンランド製のサウナグッズを飾って設営準備を終了した。

夜間の積雪にテントが耐えられるか心配が残ったが、開催日の3月2日、3日は気温が下がり北日本は大荒れで、雪時々吹雪。雪は風に飛ばされて積ることはなかった。こんな日に人が来るのかと心配するような天気の中、二日間でのべ300人以上がテントサウナを体験した。来場者は若者が多く、サウナ経験のない人も少なくなかった。スタッフは薪の世話をしながら、相手に合わせたサウナのよもやま話でテント内を盛り上げた。中には水風呂の替りに雪にダイブする本格的サウナマニアもいて、大いに楽しんでもらった。



本イベントには多くの地元の方や首都圏から来たアート好きのスタッフ関係しているが、彼らからの評判も非常に高かった。テント内外にポツンポツンと置いたフィンランドグッズが雰囲気醸し、サウナの魅力をより高めるのに一役買ったのかもしれない。

事務局長の関口氏は「フィンランドの冬をイメージしてご相談したのですが本当に良かったです。サウナの背景には文化がありますね。冬の妻有の可能性を高めていただいたと思います」との感謝の言葉をいただいた。

インハレーション
(Inhalation:吸入)

ドイツなどで普及している健康法で、有効な成分を含んだ蒸気や空気を吸い込むことにより呼吸器系の疾患を改善させる方法。塩水を使った大規模な装置が導入された温浴施設もある。



里山協働機構のスタッフとテントサウナボランティアスタッフ(協会関係者は敬称略)。後列右から、三六さん、関口正洋さん、和田秀暢、米田行孝、若林幹夫、田中琢巳、林泰子さん。前段右から、竹中想さん、重隆文、飛田晶子さん、早川知子さん。丸写真は袁和剛。



連載
第2回

ニュージャパン観光(株) 営業本部長在職30年のマネジメント 土肥英雄氏 講演抜粋

相手を知り己を知れば百戦危うからず 「他店視察は『勝ち負け』検分や!」



私が営業本部長をやっていたころは、幹部には休日は出来るだけ他店視察を行うように言っていました。視察費用の決済を行う関係上、当初口頭による視察報告を受けていたのですが、視察で知った他店の長所を自部署の改善に活かす度合いとスピードを高めるために、「相手を知り己を知れば百戦危うからず」という、「孫子の兵法」の発想を応用しました。視察するという意識では見方が生ぬるくなる可能性があるため視察も戦いだと思い、以下のような視察ルールを作ったのです。「視察後は、自社との比較での観察結果の勝負の勝ち負けを具体的に記述し、書類で提出、または翌月の活動計画書に表現すること。」

これは入り口から出口までの、節々の箇所です「清潔度、社員の接遇と態度、身だしなみ、設備、飲食物、表示物、備品のセンス、アイデア物」等の項目一つ一つを自社と比較し、勝った、負けた、新発見などを記し、どのように勝っているか負けているかを具体的に書くようにしたわけです。漠然とした視察レポートを書かせるよりも、「相手を知り己を知れば百戦危うからずやでえ、視察は勝敗の検分に行くわけや。負けてるところがないか、よう見て来てや」と送り出すわけです。勝ち負け

を敏感に意識することで切磋琢磨できるのです。そして自店の改善実施事項を翌月の活動計画書に書かせることで、改善のスピードが徐々に早くなっていきました。

これと並行して全社行事として月に一回、店長、副店長クラスによる全職場のサービス点検制度を発足し、毎月の幹部会にて結果の公開を行うようにすると、各店の意識ががぜん高まり、サービスの質がかなり向上したように思われました。

このサービス点検を行うに当たり注意すべきことは、点検者の採点が、一生懸命努力している店側の不満にならず、的確な採点が出来るように事前に各項目の100点とはどんなことをイメージするのか、点検者の「出来上がり映像」の確認を1週間ほどかけて統合しました。「出来上がり映像」の討議により、幹部(点検者)の各自到達点が定まり、行動目標が見えたのではないかと感じました。

参考までに サービス点検表を公開します。

セクション	採点	評価 減点の要因を記載
お客様お迎え度	65	
従業員身だしなみ度	80	
接客態度・接遇	70	
清掃の度合い	85	
印刷物・表示物	90	
備品等整理整頓・清潔度	80	
リネン関係	95	
お見送り度	80	
全体の活気度	80	
合計点	725	

Asahi アサヒビール
ASAHI BREWERY LIMITED
"DRY"
生
スーパードライ
350ml
ビール
SUPER "DRY"
洗練されたクリアな味、辛口。アサヒスーパードライ
ビール 飲酒は20歳になってから。飲酒運転は法律で禁止されています。アサヒビール株式会社

KIRIN
ビールは、
麦100%
の時代へ。
一番搾り
麦100%は、
※麦を原料とした「麦芽」を指しています。

厚生労働省

平成24年度生活衛生関係技術担当者研修会 開催

3月12日、厚生労働省において「平成24年度生活衛生関係技術担当者研修会」が開催された。本研修会は毎年レジオネラ症の情報、検査方法等の最新知見が得られる貴重な場として、各都道府県の生活衛生関係担当者や保健所の担当者が出席する。今年の内容は、国立感染症研究所・倉文明氏の「最近のレジオネラ症の動向」、国立感染症研究所・前川純子氏の「Legionella pneumophilaの遺伝子型のグループ化と生息環境との対応」、富山県衛生研究所・磯部順子氏の「水溜まりからのレジオネラの感染ルート」、静岡市保健所・片山富士男氏の「浴槽水のモノクラミン消毒の条例化」、埼玉県狭山保健所・倉島美穂氏の「日帰り温泉施設におけるレジオネラ症集団発生事例」、山形県置賜総合支庁・安部悦子氏の「山

形県で発生した集団感染事例への対応について」の、6発表があった。

5番目の埼玉県の事例は、年間30万人が利用する地域でも人気のある日帰り温泉施設「まきばの湯」において昨年発生したレジオネラ集団感染症について報告したもの。協会加盟店ではないものの、最近発生した重要な事例であるため、発表を抜粋して報告する。



埼玉県狭山保健所・倉島美穂氏発表概要
レジオネラ集団感染症事例
「まきばの湯」

昨年11月21日から29日の間に埼玉県狭山市の温浴施設「まきばの湯」を利用した50歳～80歳代の男女8人が30日から12月17日にかけてレジオネラ症で肺炎などを発症。うち2人の菌の遺伝子パターンが、浴槽のふき取り検体の遺伝子パターンと一致したため、12月27日、公衆浴場法に基づき同施設は営業停止命令を受けた。

施設の使用水は温泉水(ナトリウム-塩化物泉でpH8.1の弱アルカリ性)と井水。2浴室(甲・乙)を週単位で男風呂と女風呂を代えていた。浴室ごとに屋内6、露天6の浴槽がある。浴室毎に循環ろ過・加温4系統、循環加温のみ3系統。消毒は温泉の消毒に銀イオン及び陽イオン剤併用、井水の消毒に塩素剤使用。

感染した男性5人女性3人のうち7人が甲浴室を利用していた(1人は記憶が不確かなため不明)。しかし当初甲浴室から採水した浴槽水と患者の菌株遺伝子パターンが不一致。2度目は拭き取り検査を行ない、甲浴室の露天に設置してある木製の樽風呂から検出した菌株遺伝子パターンが患者2人と一致した。樽風呂の浴槽壁は劣化しており、表面の凸凹が顕著であった。同館によると、樽風呂は3年ごとに新調しており、ちょうど新しくするところであったとのこと。

管理状況は、毎日全浴槽を換水し高圧洗浄機及び高温高圧洗浄機で洗浄、全集毛器清掃、全ろ過機逆洗浄を行っていた。配管消毒については、【水、空気砲による清掃→塩素循環→2時間放置→洗浄】は月に一回で、11月7日に実施。【ワイヤー清掃→塩素循環→2時間放置→洗浄】は概ね週に一回実施してい

たが、11月7日以降に清掃頻度が落ち、最長17日間消毒実施のない系統があったことが分かっている。

集団発症の原因は特定できなかったものの、施設調査により管理上問題のあった点は下記のとおり。主要な原因と思われる問題点は赤字部分。

Table with 2 columns: Category (e.g., 配管, 消毒, 貯湯槽等) and Issue Point (問題点). The table lists various maintenance and safety issues related to the hot spring facility.

レジオネラ肺炎は2日～10日と潜伏期間が長いいため、実際に集団感染が起こっていても、初動段階では患者報告数がまだ少なく、後になってから多くの報告が上ってくる場合がある。新たな患者の発生を最小限にするためには、原因施設の早期探知と、使用自粛指導が必要となる。今回は8日の検査結果を待たず、12月5日に2人目の患者報告を受けてすぐに営業自粛を指導したところ、営業者がこれに応じ営業を休止した。その後さらに6例の患者発生報告があったが、施設の休止が遅れていれば、さらに多くの患者が発生した可能性もある。初動段階における対応が大きなポイントであ

り、迅速な調査・指導、適切な判断が求められる。また、原因施設特定の決めてとなる遺伝子学的検査を行うためには、医療機関の協力を得ることも重要である。

同社は再開を目指し、消毒方法や管理体制の見直しを進めていたが、1月8日営業再開を断念し、閉館すると発表した。同社幹部は「泉質の関係で塩素消毒が効きにくく、レジオネラ症を100%防ぐのは難しい。畜産・食肉加工を根幹事業とする会社として、もう一度問題が起きると会社自体が立ち直れなくなる。閉館は経営的な判断」と説明した。下表は時系列。

Timeline table showing dates (月日) and facility status (施設営業) from 11/30 to 1/15. It details the progression of the Legionella outbreak and the facility's response.

厚労省の新版レジオネラ症防止指針(概要)は、レジオネラ属菌の感染因子の点数化をしており、温浴営業施設の場合は6点以上となる。このスコアを目安にすると、年間2回以上のレジオネラ属菌の検査が望ましく、もしレジオネラ属菌が検出された場合は直ちに清掃・消毒等の対策を講じ、対策実施後は検出菌数が検出限界以下であることを確認するよう指導している。

Large advertisement for Metos Saunas. It features a background image of a sauna interior and a large water tank. Text includes '良いサウナが良い人を創る' (Good saunas create good people), 'ガス遠赤でもロウリュを可能にしたロックフェイスサウナ ISNESS', and '追い風あるロウリュで世界中のサウナファンを魅了する ikiサウナ'. It also lists contact information for Metos Co., Ltd. and their website.